



議会だより

第106号
2020 令和2年1月23日



12月定例会

もくじ

12月定例会	2
補正予算質疑・議会のうごき	4
議会モニター就任	5
全員協議会	6
一般質問(6人が町政をただす)	8
委員会視察	15
みんなの声	16

議会だより
QRコード



お餅を食べて1年間健康に

令和2年4月 子ども医療費無料化 (0歳~18歳まで)

事業開始にむけて に向けたシステム改修委託料

114万円補正

12月定例会で決まった補正予算

(△は減額)

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第4号)(専決)	564万円	33億8,195万円
一 般 会 計 (第5号)	3,889万円	34億2,085万円
特 別 会 計		
国民健康保険事業 (第2号)	3,278万円	6億1,605万円
介護保険事業 (第2号)	△ 102万円	6億9,912万円
簡易水道事業 (第3号)	249万円	2億 530万円
特定地域生活排水処理事業 (第1号)	7万円	1,147万円
農業集落排水事業 (第1号)	57万円	1億1,267万円
下水道事業 (第3号)	△ 127万円	1億5,984万円

※金額は千円未満を切り捨て

主な歳出

一般会計補正予算 (第5号)

- ・保育園保育実施委託料 377万円
- ・子ども医療費無料化システム改修委託料 ... 114万円
- ・ドローン購入費 35万円
- ・障害福祉サービス費追加 235万円
- ・中山間地域等直接支払い交付金 37万円
- ・井鼻第3駐車場用地買収費 16万円
- ・町道維持修繕追加 650万円
- ・町新生活スーパー住まい
取得・リフォーム支援補助金追加 590万円
- ・全国瞬時警報システム (Jアラート)
自動起動機更新工事 935万円
- ・防災行政無線個別受信機追加 52万円
- ・町民野球場ナイター照明修繕 101万円

両保育園の園児増加の対応や保育士の処遇改善に充てるんだよ。



ドローンを購入して、空撮やイベントに使用するよ。また取扱者を養成していくよ。

定住のため、住居の取得やリフォームする子育て世代に120万円を限度に補助をするよ。



Jアラートの自動起動装置が耐用年数となり、最新の機器に更新するんだよ。

国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)

- ・高額療養費追加 2,000万円

人 事
案 件

人権擁護委員の推薦に同意

田中秀和氏 (松本)

(令和2年4月1日から3年間)

12月定例会

定例会は12月5日から10日まで6日間の会期で開かれました。議会報告2件、発議1件、令和元年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正など議案16件が提出され、慎重審査の結果、原案のとおり可決・承認しました。

可決した条例改正など

- 町特別職の職員で非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定
・法律の一部改正によるもの
- 町会計年度任用職員の給料及び費用弁償に関する条例制定
・フルタイム及びパートタイムで勤務する会計年度任用職員の給料や手当の支給を定めたもの
- 町会計年度任用職員の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定
・会計年度任用職員制度が令和2年4月から導入されることに伴い関係する条例を制定するもの

発議第1号 天皇陛下御即位に関する賀詞決議

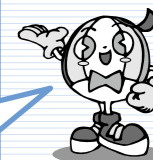
天皇陛下におかれましては、令和元年5月1日に御即位なされました。出雲崎町議会として慶祝の意を表するため、賀詞について決議を行いました。

教えて 定例会



専決処分とは?

町長が、議会の議決を待たずに、自分の責任で処理することを言うんだよ。専決処分が認められるのは、
・会議を開くことができないとき(定足数を満たさないなど)
・急を要するもので、町長が「議会を招集して議決、決定している暇がないと判断したとき」だよ。



定例会とは定期的に招集される議会のことで、各自治体の条例で定められた時期に必ず開かれるんだ。当町は、3月・6月・9月・12月で、それ以外に招集される議会を臨時会というんだよ。

定例会と臨時会の違いは?



ここが聞きたい!!

12月5日

補正予算質疑

主なもののうちから抜粋して掲載しています

保育園委託料追加

507.6万円

諸橋議員・小黒議員 利用者の増加によるものと説明があつたが、どのくらい増えているか。両保育園の追加額の差は、何によるものか。

子ども未来室長

当初見込みより、両保育園と広域入所を合わせて12名の増加である。町内の保育園は5名ずつだが、入所時期によって金額差がある。

全国瞬時警報システム 自動起動機更新工事

935万円

中川議員

更新で金額が非常に高額になっている。住民の安全を確保するためのもので、全国の自治体が同じ状況にあるのに、補助金がなく、町の単独財源で対応しなければならぬのはなぜか。県、国に要望すべきだ。

総務課長

住民の生命と財産を守るためのものであり、何らかの財源措置がないか調べたが、市町村の自治事務としてやるべ

きものとの回答であつた。

町長 県も国も防災減災に力を入れている。しっかりと要望していく。

一〇メモ

全国瞬時警報システム（Jアラート）とは、対応に時間的余裕のない大規模災害等の緊急情報を、国から住民に直接瞬時に伝達できる、日本のシステム。

小学校キャリア教育 モデル事業補助金

25万円

中野議員

今年度、この補助金を使って、柳津町の小学校と有意義な交流ができたと聞いているが、来年度以降も続けるのか。

教育課長

キャリア教育は、小学4年生以上が各学年の総合学習において行い、柳津町との交流はその一つである。県の事業で、2年間との指定があり、来年度までとなる。

議会のつぎき（主なもの）

令和元年10月～12月

- 10・2 議会報特別委員会（議会だより第105号）
議会運営委員会
- 8・3 議会報特別委員会（議会だより第105号）
社会産業常任委員会
↓詳細はp15
- 9・9 第10回全員協議会
↓詳細はp6
- 11・7 町村自治に関する研修会（新潟市）
第11回全員協議会
↓詳細はp6
- 11・8 出まえ議会
（八手地区農村環境改善センター）
出まえ議会（立石公会堂）
第63回町村議会議長会全国大会（東京都）
- 13・12 出まえ議会（海岸公民館）
出まえ議会（神条公会堂）
第12回全員協議会
↓詳細はp6
- 18・15 町との新年度予算意見交換会
全議員研修会（後期）（新潟市）
広報研修会（新潟市）
総務文教常任委員会 学校訪問
↓詳細はp15
- 27・26・20 議会運営委員会
↓詳細はp2・3
- 12・5・29 12月定例会招集日
議会報特別委員会（議会だより第106号）
社会産業常任委員会
総務文教常任委員会
12月定例会2日目（一般質問）
↓詳細はp8～13
- 10 議会運営委員会
12月定例会最終日
第13回全員協議会
↓詳細はp7
- 26・20 議会報特別委員会（議会だより第106号）
議会報特別委員会（議会だより第106号）

北前船日本遺産推進協議会 推進事業負担金

82.5万円

高橋議員 協議会のホームページ登録や情報発信にかかる費用とのことだが、高額でもあり、その費用対効果をどのように捉えているか。

教育課長 今回、新たに認定を受けた7自治体で協議して決定した金額である。専門の業者が町の取材をし、観光PRも含めて発信されるもので、一律にかかるものである。



歴史や五郎兵衛
海側の「出しだな」とその下の修繕する「船だまり」

施設修繕料追加 (歴史や五郎兵衛)

81.9万円

高桑議員 代表的な妻入り建築で、町が誇れる施設だと思う。

開設以来、大変評判が良い。海に面した「出しだな」も素晴らしいが、老朽化により入室できないのは残念である。今回はその修繕ではないのか。

総務課長 今回は「船だまり」の修繕で、家の中から降りる階段等を整理し、以前ここに船が着いていたと見てわかる形に整えたい。「出しだな」は床が朽ちており、一般の方を部屋にあげることはできない。修繕にはかなりの費用がかかるため、検討課題としたい。

良寛記念館 臨時職員賃金減

△150万円

中野議員 出雲崎町の重要な施設である。1名分の減額と思うが、このままの状況で運営していくのか。

教育課長 学芸員の方が退職されたので、今年度は教育課臨時職員を補充している。今年度は以前の体制に戻したいと考えている。

町有建物耐震診断委託料

15万円

中川議員 石井町の物件だが、外見から見ても、耐震がないことは明白で、耐震診断は不要ではないか。次年度、どういった施設としたいかを考え、設計委託等をしていくべきだ。

総務課長 これから整備を進めるのには、特定財源を入れたいと考えているが、そのためには現状を正しく把握し、示す必要がある。耐震がなければ、どう修繕すれば良いかを見極め、手戻りのないように進めたい。

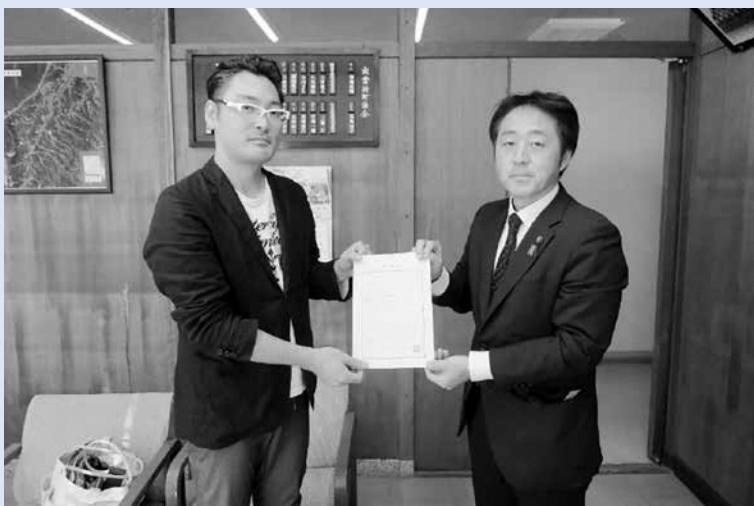


耐震診断する町有物件 (石井町)

議会の活性化

議会モニターの委嘱

11月26日、第3期議会モニターに、南波久敏さんより就任いただきました。年4回の定例会や常任委員会などを傍聴していただき、議会運営などについて意見や感想を述べていただきます。



全員協議会

主なものから

抜粋して掲載しています

第10回 10月21日(月)

「デマンド交通」について PR強化について

加藤議員 デマンド交通でま
りんを、さらにPRし町民に
周知徹底を図る必要があると
思うし、使いやすい環境を作
るべきである。

台風19号の被害状況

総務課長 当町では、福島県
に被害認定調査を行う職員を
派遣する。

産業観光課長 海岸地区に打

ちあがった大量の流木につい
て、400万円弱の費用で、海遊
広場や天領の里の前を中心に
今後清掃をしていく。

第2期出雲崎町総合戦略 策定状況について

総務課長 現在、推進会議で
3回の協議会が終了し、具体
的な事業を策定していきたい。

小黒議員・三輪議員・加藤議員
魚やコメなど地域の資源を
活かす施策を考えてほしい。
新たに事業が始まり、長期間
続いていくものなので、職員
の体制や見通しはどうなっ
ているのか。
**長岡方面へ行くにはアクセ
ス道路のインフラ整備をしな
いといけない。**

町長 事業の展開は集中と
選択である。出産・子育て・
高齢化に対する当町の政策や、
方針をしっかりと出す。北イ

ンターの団地は長岡から来る
よりも、出雲崎からの方が早
い。15分で通勤可能な出雲崎
を売りとしていく。

第11回 11月8日(金)

固定資産税の 課税誤りについて

町民課長 課税誤りの件数は
4件で、対象者には謝罪する
とともに、経緯を説明し、了
解いただいた。数字を入力し
間違っている場合はエラーが
表示されるシステムを構築す
る。

小黒議員・中川議員・三輪議員
主担当が入力し副担当が
再度チェックするべき。全
課に起こりうることで、
チェックを徹底して、上司や
仲間に、相談や報告する事が
大事である。

第12回 11月18日(月)

想定外の災害に対する 備えについて

高橋議員 個々の避難所に弱
点がある。例えば海岸公民館
は、急傾斜地でないが、裏が
崖地である。町民全体に理解
が広がるような手立てが必要
と考えるが如何か。

総務課長 災害ごとの避難所
開設について、分かりやすく
ハザードマップを制作してい
る。来年度4月には配布した
い。

町民課長 主担当が入力し、
副担当が確実に再度チェッ
クをする体制を取っていく。

会計年度任用職員制度 導入について

総務課長 地方公共団体の臨
時職員、非常勤職員の、適切

マイナンバーカード普及 の推進について

町民課長 国では、マイナン
バーカードの健康保険証利用
などが見込まれることから、
町もカードの普及のため、夜
間・休日開庁や出張申請等を
考えている。まず、行政区単
位で説明会を行っていきたい。

な運用を行う。任用、任期、
勤務時間等の規定を整備する。
(令和2年4月1日から施行する)

子ども医療費助成事業の 拡充について

保健福祉課長 4月から医療
費無償化を0歳から高校卒業
の18歳までに拡充する。

出雲崎産コシヒカリの ネーミング応募状況に ついて

産業観光課長 ネーミングを
募集したところ、インター
ネット上で非常に評判が広が

り、応募総数では1004点であった。最終的に10点程度へ絞り込んでいく。

天領の里指定管理者 審査状況について

産業観光課長 10月10日公募説明会にシダックス大新東ヒューマンサービス(株)の1社が参加した。

三輪議員 営業時間や営業日の削減が多く、いかにコストを下げるかに徹底している。運営が後ろ向きではないか。毎年多額の予算で維持管理しているの、それ以上の効果がないと意味がない。町長の考えを伺う。

町長 町が天領の里をいかに活用し、集客能力を上げて、町を売り込むか、一つの共同体でやっていかねばならない。誘客増加のために、話し合い、改善をしていくことが必要であると思う。

町の観光拠点でもあることから、町も積極的に関与をしていく。

第13回 12月10日(火)

令和2年度 「てまりん」 運行計画案について

総務課長 地域公共交通検討会で次年度運行計画を協議した。今年度内容の反省を踏まえ、利便性を高めていきたい。①1時間ごとに1日10便の運行を、30分ごと21便とする。②予約は30分前までとする。③大人料金の変更はないが、高校生までは、利用しやすいうように1乗車100円とする。④同行者割引を廃止し、障がい者割引を導入する。5回分無料券は廃止する。⑤「おかえりライナー便」として、夕方バス時刻に合わせて2便、中永バス停から出雲崎駅まで運行する。2便とも17時までの予約とする。

中川議員・高桑議員 なぜ、出雲崎駅までか。利便性や防犯上を考えて海岸等各地区まで運行すべき。

諸橋議員・加藤議員 出雲崎駅終点が良い。保護者の負担はそう変わらない。ここまでできたのは進歩であり、状況をみたうえで、次に進むべき。

町有地 (旧航空レーダー事務所) 貸付について

総務課長 国土交通省の航空路監視レーダー事務所用地として貸し付けていた相田地内の土地を、東京ガスから委託を受けた関連会社に貸し付ける。令和2年3月まで風力調査、測定結果次第でさらに本格調査の後、結果良好であれば風力発電施設を建設したいとの事である。

加藤議員・小黒議員 風力発電は低周波を出し、音が遠くまで響くので、民家に影響がないようにして欲しい。また中永から町道管理となっているが、冬期間除雪対応はどうするか。

総務課長・建設課長 近くに民家は無い。除雪については平

場の人家除雪が優先されるので、町は対応できない。

2歳児までの 幼児教育・保育 無償化について

子ども未来室長 10月から、国の制度で保育料無償化が始まっている。本町では、第2期総合戦略事業として、現行有料である0歳児から2歳児の保育料を無償化とする。これにより、当町では、すべての子どもの保育料が無料となる。

三輪議員・中野議員 バス料金等、保育料以外の負担は具体的にどうか。町の目玉とすべく、食費も無償化としてはどうか。

町長 今回の措置は、全国的にもまれで、基本的な町の姿勢として打ち出したものであることをご理解いただきたい。ご意見を踏まえ、次のステップを踏む。

高桑議員 未満児保育にかか

る保育士の確保等、十分な保育ができるように検討いただきたい。

中学校スクールバスの 利用状況について

教育課長 登校時は小学生と混乗し、下校は単独乗車2台で運行している。今のところ大きな問題はなく、意見を聞きながら、改善点があれば取り組んでいく。

小黒議員 今のところ冬期間の運行であるが、利用する生徒やPTAの意見を聞き、通年での運行を検討してほしい。

他に協議された事項

- ◎ふれあいの営業時間延長期間の利用状況について
- ◎直近の心月輪の運営状況について
- ◎出雲崎町プレミアム付商品券事業・申込み状況について

1 諸橋 和史 議員



質問項目

- 1.出雲崎町10～20年後の
為に

🔍 9ページ

2 加藤 修三 議員



質問項目

- 1.きらりと光る活力ある町
づくりを目指して

🔍 10ページ

3 高橋 速円 議員



質問項目

- 1.町総合戦略策定に関する
アンケート調査結果につ
いて

🔍 11ページ

一般質問 ～町政を問う～

4 中野 勝正 議員



質問項目

- 1.明日につなぐ快適で安全
安心な地域づくり

🔍 12ページ

5 小黒 博泰 議員



質問項目

- 1.「エコパークいずもぎき」
埋立跡地の利用

🔍 13ページ

6 三輪 正 議員



質問項目

- 1.イノシシ被害の現状と対
策について
- 2.「御金蔵」の復元につ
いて

🔍 14ページ



12月9日の一般質問にて、婦人会の方をはじめ多くの皆さんから傍聴していただきました。



諸橋 和史 議員

出雲崎町10～20年後の為に

町長

県や長岡市と意思疎通を図っていききたい

国道352号線の改良・バイパス化について

諸橋

町民の多くが国道352号線、長岡地域の三島側の改良、バイパス化を要望している。町内の米田から住吉町交差点の改修にもめどが立った。新潟県、長岡市を含め要望していく考えはないか伺いたい。

町長

展望坂・松本工区についても着手され喜んでい。まだ役場周辺も大変狭く、改良が必要である。352号線三島地区のバイパス等は真剣に取り組んでいかなければならないと考えている。まず、展望坂の改良工事を一日も早く終わらせたい。三島地区の改良、バイパス化について長岡市をはじめ、関係団体の皆さんと意思疎通を図っていき

諸橋

ぜひ方向性を示

して強力に進めてもらいたい。いま進めなければ、十年後二十年後の出雲崎が埋没してしまうのではないか。他町村は長岡へ抜ける道路が二路線、出雲崎は国道352号の一路線しかない。立ち遅れないように方策をとっていくべきではないか。

町長

北インター付近の企業誘致は当町も大きな恩恵をうける可能性がある。近隣市町村に早く意思を伝えながら、活動の中で展開していき



急カーブの狭い352号線

町への企業誘致について

諸橋

現在、北インター付近に工業団地の造成が進められている。町長は長岡への通勤圏内との発言もしているが、当町への企業誘致や起業するものへの支援等前向きな考えはあるか。

町長

過去には農村工業導入促進法に基づき積極的にやってきました。今は状況が変わって、有効求人倍率は1.6であるが、ベンチャー企業、個人が企業として興すなら積極的に応援したい。この小さな町で、新しい企業で頑張ってみようという人が出てきて欲しい。町は全力を挙げて応援していき

空き家・空地対策

こつこつ

諸橋

子育て支援や子

どもの医療費無償化は、当町は県内のトップを走っている。今、都会と田舎での二拠点で暮らすデュアルライフが言われている。

今後国道のバイパス化を見据えたいうえでPRできると思うが考えを伺う。

町長

首都圏、近畿中部地域の皆さんの3割で田園回帰基調の流れが鮮明になっている。町の良さを積極的にPRしながらおいで頂く。出雲崎町らしく政策を出して、当町を売り込まなければならぬ。まち・ひと・しごと創生総合戦略第2弾を進めていき

10メモ

デュアルライフとは？

都市部と農山漁村部の双方で行き交う二域居住のライフスタイル。

きらりと光る 活力ある町を目指して



加藤 修三 議員

町長

出雲崎の良さを 徹底的にPRしていく

人口減少、少子高齢化で
活力低下を危惧する

加藤 県景勝百選1位の景観、天領地であり、松尾芭蕉、良寛など多くの文化人も来町し、賑わいある歴史ある町は、良寛さんの俳句にあるように来てみれば我がふるさとは荒れにけりと、寂れた町になり、町長就任から32年間に2,300人も減少し、栗島浦村を除き県内最下位で、10年先の人口予測ではさらに減少が進み、歯止めが効かず、この町の活力低下を危惧しているが、この現状をどのように考えているか伺う。

町長 町長として今32年目を迎えているが、その時代から人口減少はとまらないという傾向で今日に至っておるといのが現状で、何もしなかったらどんどん減ったが、住宅団地やいろんなことを進めながらも、なおかつ人口が減ったということの現実はしっかりと受

けとめるが、諦めているのではない。全国に出雲崎町あり、新潟県に出雲崎町、という存在感を示していきたい。

子育て環境は県内、国内で
トップクラスの中、
若者定住策は

加藤 国は本年10月から3歳児から5歳児までの保育料を無料にしたが、当町は来年度から0歳児から2歳児までの保育料を無償化する予定である。県内初であり、0歳児から18歳、高校卒業までの医療費無償化、奨学金返済支援、格安な住宅分譲と、あらゆる支援がある。子は宝多世代交流館ができ、子育て環境は県内でトップクラスだと思う。育てた高校生や大学生が卒業後の若い人たちが戻れない現状、定住するための策について伺う。

町長 若者に住んでもらうには、婚活結婚、妊娠子育て、教育を徹底し、町の良いところを徹底的

に売り込むことが大事だと思う。



子育てしやすい環境 きらり

中永トンネルから出た
国道352線の
道路環境の整備!!

加藤 352号線は近接の長岡市に通じる必要な道路である。中永トンネルから出ると、曲がりくねって道幅も狭く、危険な道である。利用者が安全に安心して、通れる道路幅の拡大や、法線の見直しなど、道路環境の改良見直しについての考えはないか伺う。

町長 恒久的なバイパスについては将来的にお願いするが、暫定案としては危険と思われるところは徹底的にやる。即、県に改良するよう申し入れ

る。局部的だがやっていく。

町のPR強化で人口の流入、
若い子育て世代の定住、
町の人口増加と活性化を図る

加藤 長岡北スマート流通団地に県内外から多くの企業が進出する中、距離も近く最高のポジションである我が町は、地価の安さ、子どもの医療保育体制の拡充で住みやすく子育てに適した環境などいろいろな支援をPRし、町の人口増加と活性化につながる大チャンスは町長筆頭にトップセールスで行う考えはないか。

徹底的にPRする

町長 出雲崎の良さは、子育てから終の棲家まできめ細かく事業を行うことである。具体的にわかりやすく、徹底的にPRするというのが必要で、大勢の皆さんがおいでいただくような努力を皆様とともに、積極的に頑張っていく。

総合戦略策定に関するアンケートをどう受け止めるか？

町民の生の声に応えてほしい！



高橋 速円 議員

町長

ひとつひとつやっていく！

謙虚に真摯に受け止める！

町民の声を
どう受け止めるか？

高橋 来年の総合戦略策定を控えて七月に実施したアンケートは1253人に調査票を送り、回答が16歳から18歳までの42人、19歳から50歳の315人、計357人からの回答、回答率28.5パーセントとうかがっている。全体に辛口の回答が寄せられている。これは議員にもきつい回答だが、この声をどう受け止めるかがうかがう。

アンケートは

全て目を通した

町長 それぞれの立場で町を思つてのご意見だ。町の将来を憂えた率直なご意見だ。謙虚に真摯に受け止める。

町民の生の声をどう聴くか？若い人の提案などをどう認識するか？

高橋 以前は町政報告などの直接町民の声を聴く場があった。最近無いなかで若い方々の声は確かに少ないかもしれないが大変重い。辛口のコメントは、特に町に対する思いがなければ書かないはずだ。彼らの提案をどう感じたかうかがう。

若い方々との場を

設けたい！

町長 私との対話ならこういう厳しい意見は出ないだろう。アンケートだからこういう形になつたと思う。

例えば妊婦の方々、子育ての皆さん、若い人との対話の場は設けたい。若い人たちにもつと元氣と勇気を持ってもらえるような対応をする。

ポイントは
絞られている！

高橋 厳しい厳しいと仰るがそれで終わっていないのか。ポイントはもう絞られている。施策は出されている。結果が出ない。厳しい処をどういう形で総合戦略につなげるのか、この一点がはつきりしない。

「買い物が不便で、交通の便が良くなって、医療施設が不十分で、高齢になつても暮らしやすい環境がほしい」

これはアンケートで皆が分かっている。総花的でなくて選択と集中でよいのではないか。

決定打はない！

町長 決定打はない、申し訳ないが。しかしそれに近づける努力はする。一つひとつ応えていきたい。

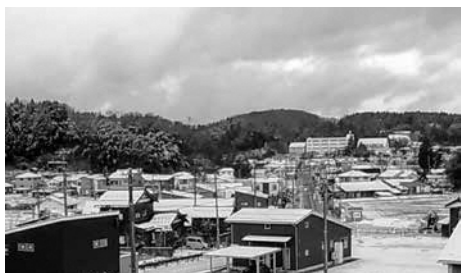
町民との温度差を
無くせ！

高橋 町民はこの先どうなるのか不安だ。合併も含めていろいろ先々の心配を抱いている。この質問で町長と町民との温度差はかなりの落差と感じた。町民との意見交換会なり、直接対話をぜひやってほしい。

行政は

生活の身近にある

町長 行政との距離感を近づけ、身近にあると理解してほしい。



令和2年元日の「松本ひがし団地」。新しい出雲崎の戦略が描けるか？新雪がキラキラ輝いていた。

町内活動の充実を一層進めるべきと



中野 勝正 議員

町長

同じ目線で環境整備を計る

**明日につなぐ快適で安全
安心な地域づくりについて**

中野 現在63の集落が行政と一緒に地域づくりを取り組んでいるわけだが、その中で力を入れている地域とそうでない地域との差があるように感じる。

地域に共通するもの、一つは循環力を高めるようなシステムづくりと考える。明日につながる地域づくりは、町内会の活動の充実強化を一層進めるべきと考える。その中で、基本となる町内会の活動の充実をどのように考えているか伺う。

同じ目線で環境整備を計る

町長 町全体をくまなく見ながら差別はしない。集落から要請があれば一緒にやって地域を考えていきたい。

町内会の活動

充実強化をはかるべき

中野 居心地よい活動で住みよい町内を目指すには、世代間の交流を通して、お互いに理解を深め、ふれあいを通して仲間づくりのため、きめ細かい声かけするべきと考

える。その為の活動充実強化について、どのように考えているか伺う。

町長 町民と友に汗をかき、行政として積極的に応援をしたい。町民の皆さんからも友愛精神をもっていたいただきたい。

中野 町内づくりが充実していれば今以上に、防災、防犯が機能すると考える。今進めている政策について伺う。

町として

最大限設備を改善する。

町長 台風19号、21号あったが、町として取れる対策はやるが、自分の命は自分で守る自助意識を持っていただきたいと思う。

道路、河川などの

生活基盤整備は

中野 計画的に進められていると思うが、町民からの要望があるので、パトロールを強化し対応していただきたい。

町長 建設課、産業観光課がパトロールしているので、町に要望をあげていただき、町として対応する。また、中山間地

域等直接支払い制度があるので、やっていない集落は活用して地域で対応してもらいたい。

**まじり等伝統行事の
継続、保存について**

中野 町内において、関心が薄いように感じる。行政として、園児、小学校、中学校の関係者の皆さんに協力要請できないか。

町長 集落の大祭は継続してもらいたい。後継者を育成するように考えるが、現実には難しいが働きかける。

不法投棄の巡回について

中野 集落の方から、不法投棄があるので、行政、議会として知恵を出していただきたいという話をいただいた。行政としてどのように考えているか伺う。

町長 不法投棄は昨年1件が報告されている。今郵便局と連携してパトロールを実施している。

後継者や、リーダー育成は

中野 魅力を持たせるには研修が大事だと思う

が、町長の考えを伺う。

町長 地域に愛着を持っていただき関心をもっていたいただきたいと思う。

**郷土に愛着のもてる
地域づくりについて**

中野 児童や生徒の頃から、学校教育活動の中で実施していく対応をしてもらいたい。

町長 地道に体制を作っていくかと思う。

**地域を担う子どもを育てる
地域づくりについて伺う**

中野 世代間交流を推し進めて、2つの保育園合同でイベントをできないか。

町長 子は宝多世代交流館きらり、できるよりに検討する。

中野 世代間の交流を通して仲間づくりを推し進めるには、公民館活動充実強化と社会福祉協議会の充実強化が大事である。



小黒 博泰 議員

「エコパークいずもぎき」 埋立跡地の利用

町長

全体像を確かめながら 計画的に整備したい

質問の要旨

【小黒】 「エコパークいずもぎき」における産業廃棄物の適正処分は、環境保全はもちろんだこと新潟県内唯一の最終処理施設であり、産業活動の推進を図る上でも極めて重要な施設であると考えている。

平成11年4月から供用を開始し、平成30年8月には第3期最終処分場が竣工し、10月現在で約11万5千㎡が処分され、埋立が完了した第1期処分場跡地には、約3万㎡の太陽光発電所で利用されている。

町内でも唯一の大企業であり、小学校での環境学習会など地域貢献も行っている施設で、町の資源ではないかと考える。その中で、質問をさせていただく。

埋立跡地の活用予定・ 計画を考えているか

環境学習の場としての
検討を始める

【小黒】 現在1期2期分の埋立が終わり、1期分

跡地には先ほど言ったように、太陽光発電施設をつくり、現在稼働しているが、その後の2期分埋立跡地の活用、今後の予定、今まで利用計画などを考えたことがあるかどうか。

【町長】 埋立跡地の利用については、これから環境保全事業団と検討を始める。子どもたちの環境学習の場としての活用が良いのではないかと考える。事業団からは、前向きに全体活用を積極的に進めたいと話をしていただいている。

事業団と共同での 跡地施設利用の考えは

全体像を確かめながら
計画的に整備をしたい考え

【小黒】 事業団と町とで公園的な施設をつくり、環境学習の施設としての活用が良いのではないかと話す機会をこれから進めたいとの答弁であったが、ぜひ早めにしていただきたい。公園のほか、周りの管理道を利用して遊歩道での開放やマラソン大会などのイベントも実施して、事業団と町で一緒にPRできれば、

最終処分場立地の理解を求める場所としても良いのではないかと考えるが、町長の考えは。

【町長】 埋立跡地の全体像をどういう形にもつていくか原案を作る行動を起こすよう理事会で申しあげる。事業団も上越で次の施設を求めているが、環境問題も厳しく、住民はなかなか納得しない。だから、出雲崎の埋立地を見て事故はない、将来的にも大きく地域に貢献する施設であることを、アピールしなさいと言っている。全体像をまず確かめながら計画的に整備をしたい考えを申し上げていきたい。



第2期処分場の全景

バイオマス活用施設などを提案する

いろいろな事を選択肢に
進めて行く

【小黒】 最近、森林の間伐材を利用したバイオマス発電所が建設されている。近くでは三条、長岡でもよつば森林組合と建設計画があり、十日町でも計画がある。発電所の建設を望むのではなく、バイオマス発電の燃料になる間伐材、海岸の流木などを集める、集積場と埋立跡地の利用ができないものかと考えるのだが。

【町長】 提案のような、いろんな事が考えられる訳で、それらを選択肢にしなから進めていく。結果的には、子どもたちの環境学習や町民の憩いの場、運動、サッカー等も盛んになっている。そういう多様な施設に活用すれば、老いも若きも活用していただける最高の施設になり、そういう施設にしたい考えである。そこにおける町としての要望は、しっかりと聞いていただくよう、言っていく。いろんな事を今から考えておいてほしい。

イノシシ被害対策強化を



三輪 正 議員

町長

頭数減らしに全力を尽くす

被害状況と阻止対策は

三輪 近年イノシシの出没地域と被害が拡大しているが、状況と阻止対策について伺う。

町長 海岸地域を含め町内全域に出没している。稲作被害ほか農道やあぜの被害が深刻である。住宅付近、畑や庭で掘り返しが多数見受けられる。一番の対策は捕獲して頭数を減らす事で、猟友会の協力により「くくりわな」、「おり」を設置し、4月から13頭捕獲。猟友会を中心に頭数を減らす事に全力で頑張る。

警察署に 網・麻酔銃常備を

三輪 「わな」は日常の管理が大きな負担となっている。捕獲の感知センサー設置も必要である。出没したイノシシ捕獲のため網が有効と考え

る。また麻酔銃が県内に少なく、取り逃がす場合もある。与板警察署などに備えて、緊急時にはすぐに出動する体制を県などに要望してもらいたい。

町長 県の会議等で強く要望していく。

周辺市町村との 連携体制を

三輪 周辺市町村でイノシシ、クマ、シカの出没の情報がある。町民の安全確保と拡大阻止のため、周辺と情報交換などが重要であると考えているが。

町長 イノシシなどは行動範囲が広いので、広域的に真剣に取り組みを進めていく。

町民への 説明会の開催を

三輪 担当課だけでなく、関係機関を含めて阻

止対策の体制が必要である。また、町民に説明会を開いて、状況説明と拡大阻止を町民と一緒にすべきと考えるが町の考えを伺う。

町長 横断的に全体で連携をとりながら、しっかりと対応していく。

御金蔵の復元実現を

町長 現段階では難しい

観光振興などに効果大

三輪 佐渡金銀山が世界遺産最有力候補であり、2〜3年後には登録されると予想され、当町も金銀荷揚地として大きな波及効果が出る。出雲崎の歴史的価値を示す重要遺跡「御金蔵（ごきんぞう）」を復元して、当町の歴史の発信と観光に生かすべきと考えるが町長の考えを伺う。

町長 資料が少なく復元は難しいが、モニメントなど象徴的なものを設置する必要があると考えている。

三輪 昨年度、看板を設置していただいた。全国に御金蔵は一ヶ所も現存していない。いきなり復元は無理でも準備は進めていくよう要望する。



わなに掛かったイノシシ

委員会視察・調査報告

11/27

総務文教常任委員会

出雲崎小・中学校



学校長より説明を受ける

総務文教常任委員全員で出雲崎小中学校の学校教育の現状視察をいたしました。出雲崎小学校では、校長先生から学校指導方針の説明を受け、委員と意見交換をしました。

今年、新たにキャリア教育を進め、家庭、地域と共に進める教育活動充実をあげ3つの部に分けて、学びの部、こころの部、からだの部として、家庭、地域と共に進める教育活動を充実したいとの説明があり、今年初めて、4年生は福島県柳津町の小学校の子ども

達と交流学习をはかり、それぞれ良さを確認しました。学校から、屋外にある時計が悪くなっているの、計が壊れてしまったという話があり、教育課長は来年の予算で検討したいとの答弁でした。

その後、1学年～6学年の授業参観及び、特別支援授業を見学しました。それぞれの取り組みの中で各学年とも先生のお話しをよく聞きながら学習に取り組んでいると感じました。

次に、出雲崎中学校では、

学校長から学校教育についての説明がありました。主な内容は、出雲崎への愛と誇りを胸に、夢や希望を持つて粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていけるたくましい生徒に努めています。基本方針の中で3つのキーワード「学ぶ学校、つながる学校、思いやる学校」の基本方針の説明を受けました。

生徒の様子や学習状況などは、1年生は昨年の結果との比較ができないが、2、3年生を見ると入学してから、学習に取り組む姿勢が高まり成績が伸びています。実効性のある職員研修の充実を図っていききたいとの説明でした。

今回の現地調査を踏まえ、学校、教育委員会、行政、議会と協力し、出雲崎の未来を担う子ども達の教育環境の整備、改善に努めてまいります。

総務文教常任委員長
中野 勝正

10/9

社会産業常任委員会

観光施設 心月輪



組合長より説明を受ける

10月9日に、観光施設「心月輪」レストランの営業状況等について、松永組合長より、対策・改善と今後の運営について説明を受けました。昨年より「暖かいケーキセット」販売などで売り上げ増を図ったが、なかなか販売増加にはつながりませんでした。

10月下旬より、ワンコイン100円の配達開始と良寛記念館ライトアップイベント時に来店する旨の説明がありました。

町、良寛記念館と連携して売上、来店客数の増加を図る必要があります。委員会としても「心月輪」のPR強化を働きかけていきます。

委員からは1、弁当配達は売り上げ増となるが、配達コストがかかる。地元から徐々に

社会産業常任委員長
三輪 正

まず

「人口が増えた」と聞いて何を想像されるだろうか。多くの方は「子どもが生まれた」と想像されたのではないだろうか。

さて、今日の地方の人口増加政策は、出生率や子どもにこだわる傾向があると思っており、既婚者や子育て世代を中心として考えがちだ。次世代を大切にすることは、とても良いことなのは間違いない。しかし、今日の社会における人の営みに

も、多様性が生まれてきた。生涯を独身で過ごす方、同性を愛する方、子を産まず夫婦だけで過ごす方、その姿は様々だ。

では、この方たちは果たして人口を維持するために寄与しないだろうか。私はそうは思わない。自分が思い描いた人生を過ごしても、周りから奇異の目を寄せられるでもなく、極々自然に触れあえるような場所があれば、前段の述べた方たちは

「転入者」という形で、

人口維持に寄与するのではないだろうかと思っている。

自分の思い描いた人生を過ごし、生涯を終える。その方たちに憧れて、次の世代が入ってくる。そういう人口のサイクルがあってもいいのではないかと私は思う。

この町に骨を埋めるその日まで、私に憧れこのまちに一人でも移り住んでくれたら、そう願います。日もこの町で暮らそう。



みんなの声

人口を維持すること

尼瀬(稲荷町)

なかた たかのぶ
中田 孝信



寒いこの時期に炎を囲んで、地域の皆さんが語りながら、ゆつくりとした同じ時間を過ごす小正月の行事は、とても大切なものを感じられました。目まぐるしく情報が飛び交う、せわしない現代社会の毎日ですが、こうした温かい贅沢な時間を持つことを、長く次の世代に伝えていきたいものです。

(高桑佳子)

表紙の小話



1月12日、出雲崎町内の集落で、豊作や無病息災を願う「賽の神」が行われました。今年は雪の無い穏やかな正月で、この日も少し小雨があたりましたが、まずまずの天候でした。

お正月の書き初めを炎に投げ入れ、高く舞い上がって歓声をあげたり、スルメやお餅を熾火で焼いて、ハフハフいいながら食べ、振る舞われた甘酒に舌つづみを打ったり。

寒いこの時期に炎を囲んで、地域の皆さんが語りながら、ゆつくりとした同じ時間を過ごす小正月の行事は、とても大切なものを感じられました。

目まぐるしく情報が飛び交う、せわしない現代社会の毎日ですが、こうした温かい贅沢な時間を持つことを、長く次の世代に伝えていきたいものです。

編集後記

令和2年、新年が明け56年ぶりの東京オリンピック・パラリンピック開催の年になりました。私は、前回の大会には生まれていなかったのですが、国内開催がどの様に行われるのか楽しみで、ワクワクします。

昨年5月、平成から令和に年号も変わり、新しい年明けになったわけですが、町政も議会も新たな気持ちで町民と一体になり、これからの出雲崎を考えなければならぬと考えます。

私自身、何もわからない一年生議員ですが、皆さんの素朴な問題や疑問を一般質問などで問い質し、議会だよりを通して議会・議員活動を知って頂く努力をしていきたいと考えます。

今後の議会だより編集・発行にあたり、読者の皆様のご意見、ご要望をぜひお聞かせください。(小黒博泰)

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 安達一雄
委員 中野勝正
委員 三輪正
委員 小黒博泰

議会だより発行予定

発行は年4回。発行日は4月23日・7月25日・10月23日・1月23日です。

議会の傍聴にぜひおいでください。

発行/新潟県出雲崎町議会 責任者/議長 仙海直樹 編集/議会報特別委員会 題字/南波秋海 印刷/北越印刷株

〒949-4392 (専用) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322 HP <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>